

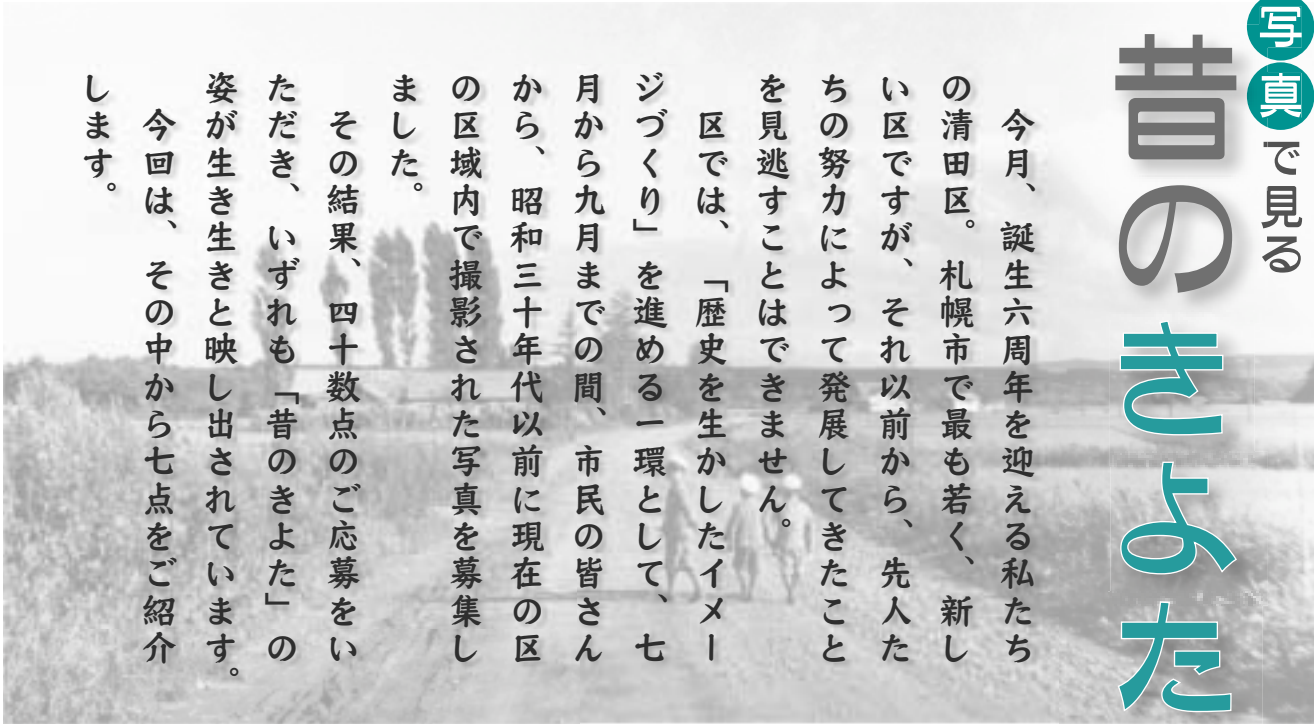
写真で見ると

昔のきよた

今月、誕生六周年を迎える私たちの清田区。札幌市で最も若く、新しい区ですが、それ以前から、先人たちの努力によって発展してきたことを見逃すことはできません。

区では、「歴史を生かしたイメージづくり」を進める一環として、七月から九月までの間、市民の皆さんから、昭和三十年代以前に現在の区の区域内で撮影された写真を募集しました。

その結果、四十数点のご応募をいただき、いずれも「昔のきよた」の姿が生き生きと映し出されています。今回は、その中から七点をご紹介します。



昭和15年ごろ 旧国道36号にて
見上多鶴子さん所有



昭和31年ごろ 清田189番地の家屋
北川等さん所有



昭和38年8月 清田団地造成（現在の清田6条2丁目）
大西輝夫さん所有